

2 月が終わろうとしている現在、授業も中盤に差しかかり、中間テスト期間を迎え、テスト勉強、課題に追われる日々を過ごしています。そして、実際一科目中間試験を終えました。また、テストとは少し逸れますが、今月は授業、部活動(剣道)を通して貴重な体験ができました。今回は、それらについて報告したいと思います。

## 授業

### MSE280 : Engineering Materials

このクラスでは、セラミックス、ポリマー、金属の性質等について学びます。現在に至るまで3個の宿題を提出し終えました。宿題には毎回時間をかけていたため、すべて高得点でした。そして、今月の終わり、中間試験が行われました。テストは記述式で、半分以上が文章で説明しなければいけないような問題でした。宿題をしっかりと行っていたのでテストも大丈夫だろうという考えで臨みましたが、いざテストになると文章を上手く書くことができず、少し苦戦しました。次回の中間テストは今回上手いかなかった分、頑張りたいと思います。

### ASTR 100 : Introduction to Astronomy

このクラスは、太陽、月、惑星の起源や動きなど幅広く天文学について学びます。それとは別に、3種類の課外活動(プラネタリウムを見る、星、太陽観測を行い、レポートを書く)があります。そして、今月、プラネタリウムのある Parkland College (大学からバスを使い25分ほどで到着する場所)に行き、講義を受けてきました。講義では、実際に先生が投影機を用い、星座、太陽、地球、月の関係等の説明を行いました。講義自体は2時間でしたが、先生の講義はとても面白く、あっという間に終わりました。正直、大学の授業の一貫でプラネタリウムを利用するなど人生で初めてで、とても楽しめました。この課外活動を受け、この科目に対するモチベーションがかなり向上しました。来月は他の課外活動に加え、中間試験があります。しっかり取り組みたいと思います。



来週には、他の科目の中間テストも実施されます。満足できる結果を残せるよう頑張りたいと思います。

## 課題活動 (剣道部)

以前の報告させていただいた通り、現在私は剣道部に所属しています。週2回、それぞれ2時間ずつ上手くなれるよう練習を行ってきました。そして、ついに今月、待ちに待った大会に参加してきました。その大会はデトロイトで行われ、アメリカ中西部で最も大きい剣道大会です。デトロイトへは友達の手2台、15人ほどで大学から6時間かけて向かいました。金曜日の夜に出発したのでデトロイ



トのホテルに朝の2時に到着しました。そして、次の日（土曜日）は、昇段審査と剣道界では知る人ぞ知る剣道8段のとても有名な先生（石田先生：過去に全日本剣道大会で優勝経験がある先生）を招き入れ、合同稽古（その8段の先生のもと、大会に参加する人たちと一緒に練習）を行いました。私は、昇段審査を受けることができたのですが、審査を受けるための準備（審査を合格するためには、防具をつけ試合を行うのに加え、木刀を使い行う形、筆記試験が必要）をしておらず、また、アメリカでは日本で審査を受けるのに比べ合格しやすいので、もし合格しても少し価値は下がる（といっても同じ段なので、日本で段をとった人に“アメリカで〇段とったの、”と言われるぐらいです）等の理由から、合同稽古だけ参加しました。合同稽古時、先生は英語を話すことはできないので、練習の時は、通訳（アメリカに住み、剣道をしている日本人がボランティアで）をつけて行われました。通訳している姿はとてもかっこよく、自分も将来あんな風に同時通訳できるぐらい英語がうまくなりたいという気持ちになりました。練習は、少し大変でしたがとても楽しく行え、とてもいい汗をかけました。そして、無事、稽古を終え、ホテルに戻りました。その夜、次の日は大会でしたが、夜中までみんなでそれぞれの国の音楽、映画、ゲーム等について話し合い、とても楽しい時間を過ごせました。翌日、大会は朝の8時から始まりました。アメリカで開催されるので8時過ぎてから開会式が始まると思っていましたが、日本の国技なのか大会の主催者が日本人であるのかはわからないけれど、きちんと8時から始まりました。大会は、最初に個人戦から始まりました。個人戦は、無段、初、二、三、四段以上の部で分けられました。試合参加者は老若男女問わず、アメリカ中西部に住んでいる人だけでなく、カナダからも多くの人（実際のところ参加者の半分ぐらいがアメリカやカナダに住んでいる日系人で、他韓国、中国、白人でした）250人ぐらいが集まりました。私が参加した三段の部は50人ほどが出場しました。結果ですが、残念ながら4回戦敗退（ベスト8）という結果に終わりました。正直私に勝った相手は日本でバリバリ剣道をやっている交換留学生で、さすがに6年間も剣道をやった穴は埋められず、実力差で私は負けました。団体戦は、段で部門を分けることなく、5人、一チームで行われました。試合前チーム一丸となって絶対にいい結果を残すぞと意気込んでいたものの、初戦いきなり、優勝候補（毎年優勝しているチーム、チーム内に世界大会に出場するメンバーも含まれていました）とあたり、勝てるわけもなく敗退しました。自分自身、大会中精いっぱい頑張りましたが、結果がついてこず、少し悔しい思いをしましたが、アメリカで大会に参加するという貴重な体験ができたほか、友達との仲も深まりホントによかったと思います。

以上で2月分の報告とさせていただきます